



伯耆町で一生涯和牛を飼う！

田中裕之さん、知恵さんに聞きました

今年、就農して10年を迎える田中さん。農協に10年勤めていたが、心機一転、伯耆町白水で牛飼いに転向した。3頭くらいから始まったというが決して平坦な道ではなかった。

で2年間研修させていた。そこで知恵さんと出会いました。知恵さん 最初は大山乳業に入社し、大山まきばみるくの里で勤務したが退職し木嶋先生のもとでアルバイトしていました。

ンクに入れて運んでいきます。牛は夏場は外で放牧します。白水のみなさんの土地を借りて3畝くらい。最初は人も入れない荒地だったけど今では牛が入ることで再生しました。

う。水稻農家は奨励金が入り、和牛農家はエサを確保できるということですから。飼料米の米は鶏や豚のエサになりワラの部分を貰います。他にも飼料用イネは全部刈り取ってロールにし、ラップを巻いて乳酸発酵したものを牛に与えます。

※大山山麓開拓建設事業 富江1号給水スタンド

田中さん 自分が牛を飼いはじめた頃は、県から180万円の研修費を借りて仕事し、生活しなればならなかった。半分は10年で償還することになっていたので、お金がなくて大変でした。

質問 なぜ牛飼いを？

田中さん サラリーマンのように勤めることより自分で事業を興したこともあり、知り合いも多かったので農業を始めました。

質問 牛が好きだった？

田中さん そんなことではなかったが、最初は日野町の親戚の牛小屋で飼うことから始まり、前田牧場で1年間研修生となり、次は木嶋先生のもと



知恵さん (31歳) 初芽ちゃん (1歳) 田中裕之さん (40歳)

田中さん 今年くらいから子牛が年間20頭を超える出荷となり、ようやく生活も安定してきました。

牛舎も新築したが、まだ、水道がついていないのでなんとかつなげたいです。

質問 水は？

田中さん 富江の※給水スタンドから軽トラで夕



新築された牛舎

質問 冬のエサは？

田中さん 耕畜連携というので水田に堆肥を還元し飼料米を作ってもら



放牧場の様子

取材協力ありがとうございました。

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

- 【編集】
- 編集長 勝部 俊徳
  - 委員長 杉本 大介
  - 副委員長 杉本 大介
  - 委員 渡部 勇
  - 委員 篠原 天
  - 委員 永井 欣也
  - 委員 乾 裕

平成27年第1回伯耆町議会定例会が終了した。27年度予算総額は71億9600万円。前年度比3億6000万円の増、率にして4.4%増の規模となった。26年度補正で国と地方が一体となった「地方創生」もスタート。これらの中で、「協働のまちづくりの推進」を掲げている。先月、日光公民館と旧日光保育所「山隠れの里」を会場に「ほうきまちづくり円陣の会」第2回事例発表交流会が開催され、溝口地区を活性化するためのアイデアと表して溝口中の当時3年生の代表が4点について意見を述べた。鬼のまちみぞくち、ゆるキャラで溝口をPRなど「日本最古の鬼伝説」をモチーフとしたまちづくりを提案されたものが続いた。他にも清流日野川で遊ぼうなど、自然と親しむエコツーリズムを求めるものもあり、伯耆町の中学生たちの夢を実現できるように応援したいと思った。

編集後記



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。